

「第5回若造展 2018」開催要領

～南信州の若手アーティストたち～

1 趣 旨

地域の文化芸術活動を将来にわたって永続的に展開していくために、次の世代を担う飯田下伊那地域（以下南信州という。）にゆかりのある若い方々に作品の発表の場を提供することにより、彼らの創作意欲のさらなる喚起を図るとともに創作者同士の交流を通じて表現技術の向上に資する。

2 主 催

長野県飯田創造館

3 共 催

長野県・長野県教育委員会

4 後 援

飯田市、（申請中）下伊那郡町村会、飯田市教育員会、南信美術会、（今後申請予定）信濃毎日新聞、南信州新聞社、中日新聞、読売新聞、朝日新聞、毎日新聞、週刊いいだ、中日新聞飯田ホームニュース、NHK、SBC 信越放送、NBS 長野放送、TSB テレビ信州、abn 長野朝日放送、飯田エフエム放送、飯田ケーブルテレビ（株）、月刊いいだ（有）アド・ブレーション、月刊まじめ

5 会 期

平成30年（2018年）1月6日（土）から1月21日（日）。搬入5日（金）午前9時から午後6時まで。最終日は、午後3時まで。

但し、1月10日（水）と1月17日（水）は休館日。

6 会 場

長野県飯田創造館 3階 301号室・ふれあい創造ギャラリー・ロビー

〒395-0013 飯田市小伝馬町1丁目3541-1

電 話 0265-52-0333、 F a x 0265-52-0081

メール kumagai-id@grace.ocn.ne.jp

● 入場料 無料。

7 作品の募集

（1）出品者

南信州の出身者及び住居または勤務地を有する者並びに当該地域の高等学校、飯田養護学校、飯田女子短期大学、飯田技術専門校及び

飯田コアカレッジ等の教育・職業訓練機関に通学(在籍)及び卒業(修了)している者であって、年齢は16歳以上概ね40歳の者とする。

但し、第1回から第4回までの若造展に出品した者は、賛助会員として出品できる。

(2) 出品作品の種別及び規格

ア 第1部(日本画) 150号(額縁を含めた高さ237cm)以内とする。

イ 第2部(洋画) 油絵・アクリル・水彩・パステル・版画・コンピュータグラフィック等で150号(日本画に同じ)以内、絵の具が他に付着する恐れのないものとする。

ウ 第3部(彫刻) 高さは237cm以内とする。一作品一梱包とする。

エ 第4部(工芸) 「立体作品」は高さ約80cm以内とし、一作品一梱包とする。

「壁面作品」額縁を含めて約122cm以内とする。染織は約120cm以内にたたむことができるものとする。

オ 第5部(書道) 「漢字」「漢字系調和体」「かな」「かな系調和体」の仕上がり寸法の縦横は自由とする。できるだけ額または枠装とし、ガラス・アクリルは使用しない。また、「篆刻」、「刻字」は自由とする。

カ 出品作品の準備等

① 日本画・洋画は額装の有無を問わない。

② 日本画・洋画の作品は吊り下げられるように、額装の場合はヒートンを額縁上部より15cmの位置に取り付け、50号以下のものについては針金(線径#18前後)を通すこと。額装しない場合もこれに準ずること。

③ 額装する場合は、日本画・アクリル・水彩画・パステル・版画・工芸でガラス使用の場合は必ず樹脂ガラスを使用のこと。また油彩画はガラスを使用しないこと。

(3) 出品上の注意

ア 出品点数は、原則として、各部門一人三点以内とする。但し、展示スペースが許せばこれにこだわらないので、あらかじめ飯田創造館担当熊谷に相談すること。

イ 出品しようとする者は、平成29年(2017年)11月30日(木)までに、出品申込書及びプロフィール票(飯田創造館のホームページ

からダウンロード可能。なお、プロフィール票の提出は任意とする。)に必要事項を記入の上、長野県飯田創造館担当熊谷へ連絡すること。

(郵送の他に電話、メール、ファックスでも可とする。)

ウ 搬入時に作者が独自に作成した様式に作品の題名・氏名等を記載した用紙(キャプション)を作品の裏面に貼付すること。なお、これによりがたい場合は、創造館のキャプション様式を提供するので展示の際に申し出ること。

エ 彫刻・工芸等において天地、左右の判断が難解な作品は梱包の見やすいところに展示方法を図示すること。

(4) 搬入日時及び搬入場所

ア 搬入日時 平成30年(2018年)1月5日(金)午前8時から10時まで。搬入が終わり次第、出品者自身で展示を行う。

なお、搬入時に都合が悪い場合は、この日以前でも、順次受け付ける。但し、12月27日(水)から1月3日(水)までは休館日。

イ 搬入場所 長野県飯田創造館 3階 301号室

8 出品料 無料。過去における発表の有無は問わない。

9 その他

- (1) 展示作品を会期中に搬出することは出来ない。
- (2) 展示作品の搬出は、平成30年(2018年)1月21日(日)午後3時以降とする。
- (3) 出品作品に対し管理・取扱いには十分注意するが、不慮の損害に対してはその責任を負わない。
- (4) 6の(2)に定める出品作品の種別及び規格によりがたい場合は、飯田創造館担当熊谷に相談すること。
- (5) 会期中の1月14日(日)と1月21日(日)の午後1時から出品者の希望者によるギャラリートークを行う。
- (6) 1月14日(日)午前10時からライブペインティングを行う。これには出品者はもとより来場者も参加できるものとする。
- (7) 出品者で自らの日頃の制作風景等を撮影した写真や動画を放映することを希望する者があれば、11月30日までに申し込むこと。
また、会期中、301号室の特設する暗室及び創造館3階ふれあいロビーに設置してあるテレビを利用することができるものとする。

「第 5 回若造展 2018～南信州の若手アーティストたち～」出品申込書

(ふりがな) 出品者氏名 (性別)(年齢)	(性別 男性・女性) (年齢)
住 所 (生活根拠地)	〒
電話番号 メールアドレス	
ギャラリー トーク等への 参 加	・ギャラリートークに 参加 ・ 欠席 します 参加する場合は 1月14日 ・ 1月21日 ・交流会に参加したい 参加 ・ 未定 ・ 欠席 (該当に○印を)
出品部門 及び 出品点数	・日本画(点)・洋画(点) ・彫刻(点)・工芸(点)・書道(点)
作品の題名 及び大きさ	
作品の コンセプト (1作品について 概ね200字以内)	

- (注) 1 出品される方は、平成 29 年 (2017 年) 11 月 30 日 (金) (期限厳守) までに飯田創造館へ、できるだけメール・FAX 又は郵送で提出すること。
- 2 出品部門は、「日本画」「洋画」「彫刻」「工芸」「書道」の別を記載する。
なお、版画は洋画部門とする。
複数の部門で出品される場合は、すべての部門について記載すること。
- 3 出品料は無料。過去における発表の有無は問わない。
- 4 出品された作品は会場のスペースが許す限り、無審査で展示する。
- 5 申込書及びプロフィール票 (別紙) はできるだけメールで報告する。
- 6 交流会は、意見交換会・反省会とは別に出品者の仲間で企画実施する。

プロフィール票（第5回若造展 2018）

1 氏名	写真 または イラスト
2 南信州との関わり等（出身地、学校名）	
3 若造展への応募動機等	
4 趣味、尊敬する人等	
5 自己アピール（個展・応募展等の実績）	
<hr/>	
<hr/>	
<hr/>	

（注）提案者の趣旨

今年度は任意でプロフィール票を作品横に貼り付けることになったので、ご協力をお願いします。

プロフィール票の添付は来場者には大いに参考になると思う。展示開催中の受付や説明等の当番がなかなかできない方は、補える部分があるのではないかと思う。

しかし、人によっては貼り付けたくない方も、作品の邪魔になると感じる方もおられると思う。作品は自分の見せ方がそれぞれだと思う。

小さい作品を出品する方に合わせてハガキサイズを基本としている。プロフィール作成が初めての方は、記載例（裏面）を参考にすること。パソコン、スマホ等を持っている方は、創造館のホームページからも様式をダウンロードできる。また、記載は手書きでも結構である。写真はイラスト

（オリジナル）等でも結構である。なお、写真やイラスト等は、データを送ってもらえれば縮尺して貼り付け制作させていただく。若造展自体新しい展示会なので、全員で徐々に進化させていけたらいいと思う。

第4回若造展出展者・飾りつけリーダー役 上林泰平

【記載例】

1 氏名 上林泰平



2 南信州との関わり等（出身地、学校名）

飛騨高山出身です。

飯田には3年前に移住し、画家活動を開始しました。

3 若造展への応募動機等

若造展には2回目から出品しています。

越して1週間、たまたま訪れた創造館で

募集要項を目にして、その場で申し込みました。

4 趣味、尊敬する人等

登山、クライミングが趣味です。

絵に通ずるものがあります。

熊谷守一という画家に憧れています。

5 自己アピール（個展・応募展等の実績）

個展は飛騨高山で数回。

飯田では2015年に一回。（これから何度もやりたいです。）

公募展は二科展、長野県展、南信美術展に出品。

南信美術展では70周年記念賞をいただきました。